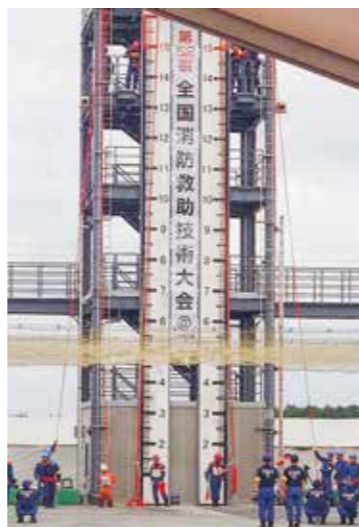


## 初の快挙! 全国消防救助技術大会に出場を果たし、見事入賞

消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を備え、日本全国から選ばれた隊員たちが一同に会し、消防救助技術を競い学ぶ「全国消防救助技術大会」。今年、安芸高田市消防本部の消防士長 島中義貴さんが中国地区の予選を勝ち抜いて、広島県代表として出場を果たしました。全国大会出場は、当消防本部の長い歴史の中でも初の快挙。陸上の部「はしご登はん」で、入賞者35人中8番目と輝かしい成績を残しました。

「はしご登はん」には  
50人が出場し、うち35人が入賞。  
島中消防士長は  
34歳で最年長ながら  
**14.5秒で**  
**35人中8番目に!**  
(標準所要時間 24秒)



8月23日(金)に千葉県消防学校にて開催。



練習の様子はこちら▶  
「安芸高田市公式  
YouTubeチャンネル」



救助隊の副隊長を務める島中消防士長。  
高い技術でみんなを引っ張る  
エースとして期待しています!

### 島中 義貴さんからコメント

#### 技術と精神面を磨いてきた10年間

選ばれた消防隊員しか出られない憧れの舞台、全国大会出場を目指して、10年前からずっと「はしご登はん」の訓練を続けてきました。「はしご登はん」は、自己確保の命綱を結んで15メートルの垂直はしごを登る競技。災害建物への進入など、消防活動には欠かせない技術です。訓練は、勤務日に2時間、休日に3時間くらい。1,000回練習してやっと0.1秒縮まるかどうか...というほどシビアなのですが、精神面もすごく大事な競技なので、ひたすら練習して自信をつけるしかないと取り組んできました。



#### 自分の技術を後輩に伝えていきたい

本番では、あまり気負わず、緊張せずに取り組めました。家族も現地に応援に来てくれて、子どもが「すごい」とか「かっこいい」と言ってくれたのが嬉しかったです。今後は、災害現場でみんなを引っ張っていきたいです。後進の育成にも力を入れたいと思っています。ロープの結び方やはしごを登るコツなどもどんどん伝えていきたいです。

安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0119・お太助フォン 42-3952 📠47-1191



# 安芸高田 歴史紀行

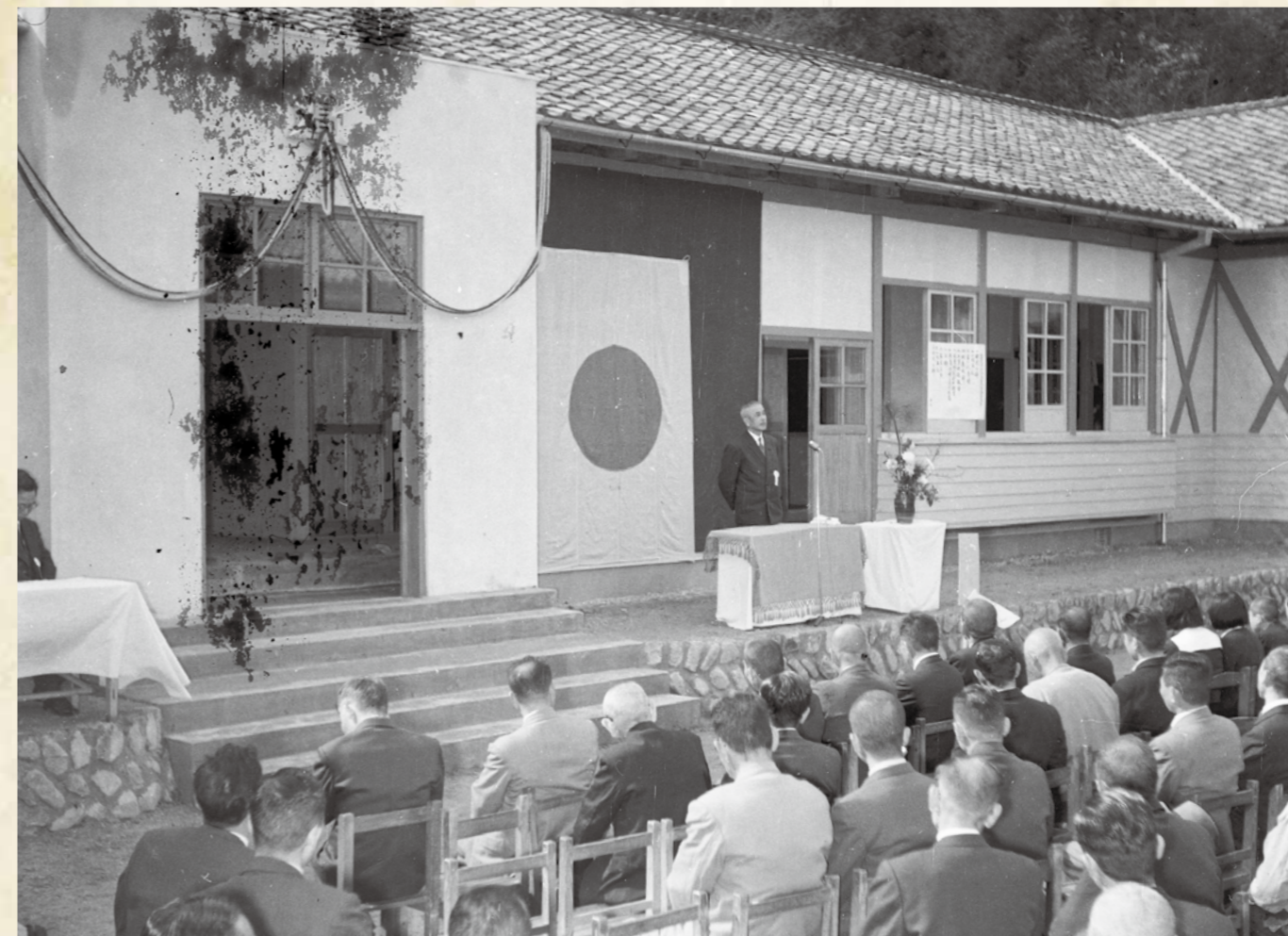
あきたかた  
れきしきこう



安芸高田市歴史民俗博物館  
学芸員 古川 恵子

あの日の記憶は  
写真の中にII [31]

## 1958(昭和33)年11月16日 吉田高等学校川根分校 新校舎落成式 (高宮町川根)



〈左上〉飾り付けられた正面玄関。向かって左側には来賓が座っています。〈中央〉国旗の前の演台であいさつをする男性。向かって右側の校舎の窓には式次第が貼られています。〈下〉校庭に座る参列者。生徒の他にも多数の町民が出席しました。

1948(昭和23)年7月23日、広島県吉田高等学校川根分校は定時制高校として開校し、川根はもちろん美土里町の生桑や北、島根県邑南町からも生徒が通学しました。

この写真は1958年の新校舎落成式を写したもので、式次第から、君が代斉唱・町長式辞・工事経過報告・感謝状と記念品の贈呈・来賓祝辞・祝電披露・万歳三唱などが行われたことが分かります。

当時の新聞によると、祝賀行事として地元の梶矢、山根両神楽団が神楽を披露した他、餅まき、展示会などが開催されたようです。

校舎は庄原市総領町田総小学校の校舎を買って受けて改造したもので、コの字形の校舎には普通教室4室を含む10室が設けられました。

川根分校は1962年に来原・船佐分校と統合して全日制の高宮分校川根教場となり、5年後の1967年に廃校。現在、学校の跡地には記念碑が設置されています。